


安全データシート (SDS)

A-97151-00307JA/03

1. 化学品及び会社情報

化学品等の名称	アルミモード用添加剤
製品コード	A290-8130-V800#30
供給者の会社名	ファナック株式会社
住所	山梨県南都留郡忍野村忍草3580
電話番号	0120-240-613
ファックス番号	0120-240-673
電子メールアドレス	https://www.fanuc.co.jp/ja/contact/form/index.html
推奨用途及び使用上の制限	アルミモード用

2. 危険有害性の要約

GHS分類	
物理化学的危険性	分類できない
健康に対する有害性	
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分2
環境に対する有害性	分類できない
GHSラベル要素	絵表示 (ピクトグラム)
	
注意喚起語	警告
危険有害性情報	強い眼刺激
安全対策	取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。 保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。 コンタクトレンズを着用していて容易に取り外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
他の危険有害性	知見なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	化学物質
分子式 (分子量)	特定できない。
組成物質	企業秘密
濃度又は濃度範囲	企業秘密
化学特性 (示性式又は構造式)	企業秘密
CAS登録番号 (CAS RN)	企業秘密
官報公示整理番号□(化審法)	企業秘密
官報公示整理番号□(安衛法)	企業秘密
化管法指定化学物質の種別	企業秘密

4. 応急措置	
応急措置の記述	
吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい体制で休息させる。 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水またはシャワーで洗うこと。 皮膚刺激又は発しん(疹)が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。□
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。 その後も洗浄を続けること。眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状	徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
医師に対する特別な注意事項	医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。
5. 火災時の措置	
消火剤	
適切な消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。 この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消火剤	使ってはならない消火剤データなし。
火災時の特有の危険有害性	過熱すると容器が爆発する恐れがある。 火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。 消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
消火を行う者への勧告	
特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させる。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	防火服又は望遠服を着用すること。保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。 消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。
6. 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	回収が終わるまで十分な喚起を行う。適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	上水減、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
二次災害の防止策	漏出物を回収すること。
7. 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	(取扱者のばく露防止) 粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレー/の吸入を避けること。 (火災及び爆発の予防) 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。 (局所換気、全体換気) 排気/換気設備を設ける。 (注意事項) 皮膚に触れないようにする。目に入らないようにする。
安全取扱い注意事項	保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。指定された個人用保護具を使用すること。 取扱中は飲食、喫煙してはならない。
接触回避	強塩基、強酸化性物質との接触を避けること。
衛生対策	取扱い後は汚染箇所をよく洗うこと。
保管	
安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。涼しいところに置き、日光から遮断すること。
安全な容器包装材料	データなし。
特定の最終用途	取扱いと保管に関する推奨事項は第7.1項、7.2項の情報を参照し、 ばく露防止及び個人保護具については、第8章を参照ください。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度	データなし。
許容濃度	日本産衛学会の許容濃度データなし。 ACGIH 許容濃度データなし。

ばく露防止

設備対策	適切な換気のある場所で取扱う。洗眼設備を設ける。手洗い/洗顔設備を設ける。
------	---------------------------------------

保護具

呼吸用保護具	呼吸用保護具を着用すること。
手の保護具	保護手袋を着用する。使用前に保護手袋を検査し、すり切れたり、損傷ある手袋は交換すること。 保護手袋の適合性、浸透時間は、使用条件により異なるため、保護手袋の製造業者に問い合わせること。
眼の保護具	化学品用ゴーグルを着用する。保護眼鏡/顔面保護具を着用する。
皮膚及び身体の保護具	繰返し又は長時間取扱いの場合、耐浸透性の保護衣とブーツを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態	結晶又は結晶性粉末
色	白色
臭い	無臭
臭いの閾値	データなし。
融点/凝固点	約315℃
沸点又は初留点	データなし。
沸点範囲	データなし。
可燃性(ガス、液体及び固体)	燃焼しない。
爆発下限界及び爆発上限界 /可燃限界	データなし。
引火点	燃焼しない。
自然発火点	データなし。
分解温度	460℃
pH	データなし。
動粘度	データなし。
溶解度	
水に対する溶解度	1080g/liter(20℃)
溶媒に対する溶解度	データなし。
n-オクタノール/水分配係数 (log値)	データなし。
蒸気圧	データなし。
密度及び/又は相対密度	2.435g/cm ³ (13℃)
相対ガス密度(空気=1)	データなし。
粒子特性	データなし。
その他のデータ	
臨界温度	データなし。
蒸発速度	データなし。
VOC	データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	重合暴走反応は生じない。
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。 吸湿性
危険有害反応可能性	データなし。
避けるべき条件	混蝕危険物質との接触。 加熱、湿気
混蝕危険物質	強塩基、強酸化性物質
危険有害な分解生成物	硫黄酸化物、金属酸化物

1 1. 有害性情報		
急性毒性		
急性毒性（経口）	[製品]	利用可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
	[成分データ]	[日本公表根拠データ]rat LD50= 2490 mg/kg (IUCLID, 2000)
急性毒性（経皮）	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
急性毒性（吸入：気体）	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
急性毒性（吸入：蒸気）	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
急性毒性（吸入）	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
局所効果		
皮膚腐食性／刺激性	[製品]	利用可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
	[成分データ]	[日本公表根拠データ]ラビット(OECD 404, GLP)：刺激性なし (IUCLID, 2000)
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	[製品]	区分 2, 強い眼刺激
	[成分データ]	[日本公表根拠データ]ラビット(OECD 405, GLP)：刺激性 (IUCLID, 2000)
呼吸器感作性又は皮膚感作性		
呼吸器感作性	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
皮膚感作性	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
生殖細胞変異原性	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
発がん性	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
生殖毒性	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
特定標的臓器毒性		
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
誤えん有害性	[製品]	データ不足のため、分類できない。
	[成分データ]	データなし。
1 2. 環境影響情報		
生態毒性		
水生環境有害性	[製品]	利用可能なデータに基づき、分類基準にあてはまらない。
	[成分データ]	水生環境有害性 (短期/急性) [日本公表根拠データ]甲殻類(オオミジンコ)EC50=190mg/L/48hr(IUCLID, 2000)
水溶解度	[成分データ]	1080 g/L (IUCLID, 2000)
残留性・分解性		データなし。
生態蓄積性		データなし。
土壤中の移動性		データなし。
オゾン層への有害性		データなし。
1 3. 廃棄上の注意		
化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。	
廃棄物の処理方法	中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。	

1 4. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号： 該当しない。
 正式輸送名： 該当しない。
 分類または区分： 該当しない。
 容器等級： 該当しない。

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号： 該当しない。
 正式輸送名： 該当しない。
 分類または区分： 該当しない。
 容器等級： 該当しない。

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号： 該当しない。
 正式輸送名： 該当しない。
 分類または区分： 該当しない。
 容器等級： 該当しない。

環境有害性

海洋汚染物質(該当/非該当)： 非該当

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。
 海上規制情報 航空法に該当しない。

1 5. 適用法令

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物 非該当
 製造の許可を受けるべき有害物 非該当
 健康障害防止指針公表物質 非該当
 変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質) 非該当
 変異原性の認められた化学物質 (新規届け出化学物質) 非該当
 名称等を通知すべき危険物及び有機物 非該当
 名称等を表示すべき危険物及び有機物 非該当

特定化学物質障害予防規則

非該当

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

非該当

労働安全衛生施行令 – 別表第一 (危険物)

非該当

火薬類取締役法

非該当

高圧ガス保安法

非該当

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

非該当

毒物及び劇物取締法

非該当

労働基準法

非該当

化審法

特定化学物質、監視化学物質、優先評価化学物質に該当しない。

消防法

危険物、指定可燃物に該当しない。

大気汚染防止法

非該当

水質汚濁防止法

非該当

水道法

非該当

下水道法

非該当

海洋汚染防止法

有害液体物質には該当しない。

適用法規情報

輸出貿易管理令別表第1の16の項

化学安全性評価

本製品の安全な取り扱いに関しては、本SDSの第7章および第8章を参照して下さい。

16. その他の情報

参照文献及び情報源

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
JIS Z 7252 : 2019
JIS Z 7253 : 2019
2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
Supplier's data/information
化学品安全データ管理システム "GHS Assistant" Version 4.24 (<https://www.asahi-ghs.com/>)
NITE 化学物質総合情報提供システム "NITE-CHRIP"
(https://www.nite.go.jp/chem/chrip/chrip_search/systemTop)
事業者向けGHS分類ガイダンス(令和元年度改訂版(Ver. 2.0)) (令和2年3月、経済産業省)

略称および頭字語

SDS (Safety Data Sheet; 安全データシート)
LD50 (Lethal Dose, 50%; 半数(50%)致死用量)
LC50 (Lethal Concentration, 50%; 半数(50%)致死濃度)
IARC (International Agency for Research on Cancer; 国際がん研究機関)
ACGIH (American Conference of Governmental Industrial Hygienists; 米国産業衛生専門官会議)
EPA (US Environmental Protection Agency; 米国 環境保護庁)
NTP (US National Toxicology Program; 米国 国家毒性計画)
JSOH (Japan Society for Occupational Health; 日本産業衛生学会)
EU (European Union; 欧州連合)
EC50 (Effective Concentration, 50%; 半数(50%)効果濃度)
NOEC (No Observed Effect Concentration; 無影響濃度)
BOD (Biochemical Oxygen Demand; 生物化学的酸素要求量)
COD (Chemical Oxygen Demand; 化学的酸素要求量)
BCF (Bioconcentration Factor; 生物濃縮係数)
anh (anhydride; 無水物)

免責

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報に基づき、当該製品の安全な取扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものではありません。
また、このSDSのデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料との組み合わせた使用に関して有効ではありません。